

# 110928 校内研

9月28日 校内研究会

中学年分科会授業提案

第3学年 国語「わたしたちの学校行事」

指導者 赤津 弓恵 教諭

授業の流れ

- 1 本時のめあてを知る
- 2 わかりやすく話すための工夫を確認する
- 3 教科書の発表メモで練習する
- 4 自分の発表メモで練習する
- 5 グループで練習する
- 6 学習のまとめ



協議会

分科会提案 教科書の発表メモで話し方のポイントを確認した後、2人組・グループで自分の発表メモを見ながら練習し、助言し合うことで、わかりやすく話すための工夫を意識しながら発表する児童の変容を目指した。

自評 本時のねらいは「メモを生かして、わかりやすく話す」だったが、「メモを生かして工夫して話す」にした。子供たちに工夫と言ったほうがわかりやすいと判断した。「発表を聞き合って助言しよう」も本時のねらいであった。

メモづくりは教科書どおりだと難しいので3年担任で作ってみた。話し方については4つのポイントを意識して工夫を書かせることにした。

協議 2人組だと友達の発表メモを見ながら助言ができるので互いに高め合うことができていた。学習の流れが提示されていたので、児童の動きがスムーズだった。メモをもつ位置が徹底されていなかったようだ。

教師の手本 VTR がよかった。児童の強い興味をひき、話し方のポイントをおさえるのに有効だった。



指導・助言 玉川大学教職大学院 教授 堀田 龍也先生

## 3年 国語 赤津実践についてのご指導

実物投影機のカメラを子供のほうに向け、実際にやり方を映し例示する方法はよかった。話し方について工夫を4つにしていたが多すぎないか。シンプルの方が良い。教科書の例示は間とアクション、速さと強さがメインとなっていた。グループでの活動ではめあてが薄れていた。めあてカードを持たせるなどのやり方もある。児童と教師の関係がうまくいっていることが分かる授業だった。

## 当日の授業についてのご指導

(☆ ☆は全体にかかわる課題)

(3年 図工 榎木実践)

板書がよく計画されていた。前回に比べ、教師が話すスピード・間・児童をみるタイミングや児童を見渡す力が付いてきた。

人ごみが起きる、井戸端会議が始まるなどのロスタイムをつくらない。何かを取りに行く時はあちこち分散して置いておく方法



が有効。児童の動かし方の基本、コツを学んでいきたい。

☆貼りもの注意報☆・・・貼りものは最小限にした方がよい。次回も使うなど意味があればよい。

☆例示☆・・・やり方を例示することは大事。個人差が大きい学級では特にそうだ。製作の時にはゴールを見せることが大事。



(5-1 学級活動 伊藤実践)

授業の内容を考えると学級活動ではなく総合的な学習の時間である。

☆スモールステップが大事☆・・・実験1→感想を言わせておさえる→実験2→おさえ→実験3のように、1つ1つのステップでおさえていくことが大事。問題解決型で授業を展開していった児童に力が付くのか？

問題解決力とは意味が違う。集団を教えるときは要注意だ。

(6年 家庭科 西尾実践)

前回の調理実習の振り返りそのものはよくできていた。しかし、「振り返り」を1単位時間使って行う必要があるのか。ワークシートはよく工夫されていた。顔写真ではなく、児童が自分の思いで撮った写真であればよかった。表現したい、発表したい、という姿が見たい。



(1-1 国語 吉川実践)

教師の突っ込みがよい。教科書を拡大し、どこをやっているかを指し示して読ませることは有効な方法である。

板書計画がよい。「くじらぐも」が帰っていく場面の「ありがとう」「またきてね。」は児童の言葉だった。

「それはどこからわかるの？」の教師の言葉で文章にもどることができる。矢印で文章からわかることばを書いているのがよい。

ありがとう  
↓みせてくれて  
のせてくれて  
またきてね  
↓がっこうが  
すきなくじら



☆教室掲示の系統性を☆・・・低学年から掲示物があるが、児童の実態に合っているか。実態に合わせて修正する必要がある。

(4年 算数 磯部実践)

教師の突っ込みで提示された資料から児童が考えざるをえない状態になっている。単元計画が掲示してある。今までに何を学んで、これから何を学ぶのかを意識させている。

授業の基本として5Wで聞くとよい。発問の常識である。1Hの「どうだろう」「どうかな」という聞き方はよくない。めあては「水道局の人の取り組みを調べよう」がよかった。

(3年 体育(保健) 村井・鈴木実践)

板書計画がよかった。教科書を忘れた子への対応もよかった。(あらかじめコピーしたものを用意しておいた)

「どのような」という言葉を使ったため、授業のめあてがぼやけてしまった。養護教諭、つまり専門家の授業なのだから、「まだ見つけてないのがあるよ」のように児童にゆさぶりをかけたい。



